

地域おこし協力隊通信

vol.60

集落支援担当 中井正幸隊員



問寒別で過ごす初めての冬。水道管が凍結しないかビクビクしている地域おこし協力隊の中井です。時期は少し戻って、9月26日（土）に上幌延、開進地区合同で「ご近所交流会」と銘打ったイベントを開催させていただきました。

ひと昔前と比べ、同じ町内会の会員同士が集まる機会が減少していることに加え、特に今年は新型コロナウイルスの影響もあり、地域行事が軒並み中止になってしまいました。「隣近所の人と会う事がなくなって寂しい」というお声を聞き、コロナ対策をしっかりと行ったうえで地域の方々に協力していただき、イベントを企画しました。

交流会当日は20名（内地域住民13名）が参加し、まず幌延町映像ライブラリーに収録されている約40年前の幌延の様子を映した映像の上映会をしました。参加者の皆さんは、昔を懐かしみながら思い出話に花を咲かせていました。（上映した映像は幌延、問寒別の生涯学習センターで視聴できます）

お昼は、参加者に作っていただいた特製の豚汁とお漬物、協力隊のミルク焼きそばの試作品などを食べ、楽しい時間を過ごしました。近くに住んでいながら、なかなか会う機会も無く、数年ぶりに会ったという方もいました。

今回のような交流会を町内各地で開催したいと考えております。ご要望などございましたらお声がけいただければ幸いです。



「上幌延・開進ご近所交流会」に参加された皆さんと

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



地域おこし協力隊の貞廣です。今年も残すところわずかとなりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は道産子なので寒さには慣れていますが、幌延で過ごす冬は初めてで不安と楽しみが入り混じっています。

広報誌9月号の協力隊通信で紹介した、サロベツ原野の魅力を発信する「ほろのべ・サロベツ 花*NEWS（以下、花*NEWS）」は、今年のお花観察シーズンを終えたことにより、定期発行を一時終了とさせていただきます。幌延町ホームページでの紹介や生涯学習センターなどでも掲示させていただきました。特にサロベツ原野が好きで、毎週の定期観察がとても楽しく、「この瞬間が一度きり」と思いながら観察・撮影をしてきましたが、少しでもその瞬間の素晴らしさを皆さんにお伝えすることができていれば幸いです。

花*NEWSの発行にあたり、多くの方にご協力いただき、本当に感謝しています。その中でも幌延町生涯学習アドバイザーの富士元寿彦さんには、お花の種類の確認や撮影方法など多くのことを教えていただきました。来年はより多くの町民に関心を持ってもらえるよう、パワーアップした花*NEWSを発信したいと思います。来年はどんな風景が見られるのか、今からとても楽しみです！



多くの方が幌延ビジターセンターを訪れていました

お問い合わせ先：（集落支援）地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」
（観光振興）企画政策課 企画政策グループ

電話・告知端末機：9-7367
電話 5-1114 告知端末機 5-8814